



2021年6月10日

各 位

会社名 東京インキ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 堀川 聡  
(コード番号 4635 東証第2部)  
問合せ先 管理部門理財部長 中村 真次  
(TEL. 03-5902-7652)

(訂正) 「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2019年11月7日に開示いたしました「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2021年6月10日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 東京インキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4635 URL <http://www.tokyoink.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 淳男  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門理財部長 (氏名) 中村 真次 TEL 03-5902-7652  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,119	△3.9	173	△62.2	304	△49.6	196	△50.3
2019年3月期第2四半期	21,978	0.4	460	△41.7	602	△37.9	396	△40.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 143百万円 (32.4%) 2019年3月期第2四半期 108百万円 (△89.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	72.91	—
2019年3月期第2四半期	146.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	45,336	24,216	53.1	8,911.29
2019年3月期	46,656	24,125	51.4	8,875.68

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 24,076百万円 2019年3月期 23,983百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2020年3月期	—	40.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,600	△2.3	900	△27.4	1,070	△25.6	700	△31.9	259.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	2,725,758株	2019年3月期	2,725,758株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	24,005株	2019年3月期	23,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	2,701,973株	2019年3月期2Q	2,702,294株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）におけるわが国の経済は、企業収益の底堅い推移や堅調な個人消費等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。米中貿易摩擦による中国経済の景気減速に加え、英国のEU離脱問題などの要因から、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、既存の事業領域における競争力強化と顧客満足の向上および周辺事業領域への拡大に引き続き努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が211億1千9百万円で前年同四半期比8億5千9百万円の減収（3.9%減）、営業利益は、原材料価格の上昇およびシステム変更に伴う一時費用の増加等により、1億7千3百万円で前年同四半期比2億8千6百万円の減益（62.2%減）、経常利益は3億4百万円で前年同四半期比2億9千8百万円の減益（49.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千6百万円で前年同四半期比1億9千9百万円の減益（50.3%減）となりました。

次にセグメント別に概況をご報告いたします。

**（インキ事業）**

オフセットインキは、市場縮小化と原材料価格の高止まりが継続する中で、価格改定やコスト削減を図りつつ、販売数量の確保に努めましたが、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

グラビアインキは、紙用グラビアインキが低調でしたが、軟包装用環境対応製品など戦略製品が健闘し、売上高は前年同四半期に比べ若干の増加となりました。

インクジェットインキは、受託インキが、中国の環境対応による原材料供給不足と委託先の内製化により伸び悩み、また、産業用機能性インキは、建材用需要の減少により、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

印刷用材料および印刷機械は、オフセットインキと同様に厳しい環境の中で売上維持に努めましたが、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、インキ事業の売上高は、65億5千4百万円で前年同四半期比6億6千4百万円の減収（9.2%減）、セグメント利益はコスト低減の効果により、8千2百万円で前年同四半期比2百万円の増益（3.7%増）となりました。

**（化成品事業）**

マスターバッチは、日用品・化粧品・食品・建材向けの容器および包装資材用途は堅調に推移し、自動車関連も下期の消費税率変更の影響を受け、数量および売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

汎用樹脂コンパウンドの受注は好調に推移いたしました。機能性樹脂コンパウンドについては中国経済減速の影響を受け、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

この結果、化成品事業の売上高は、104億7千5百万円で前年同四半期比1億8千3百万円の減収（1.7%減）、セグメント利益は原材料価格の上昇と売上構成の変化により、8億1千4百万円で前年同四半期比1億3千1百万円の減益（13.9%減）となりました。

**（加工品事業）**

ネトロン工材は、水処理用資材の輸出需要低迷およびオリンピック用資材の物件終了に伴い、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

ネトロン包材は、事業拡大により、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

一軸延伸フィルムは、コイン包装用途が好調に推移したものの、食品包装用途等が減少したため、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

土木資材は、ランドセルおよび周辺部材が災害復旧需要に対応し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

農業用資材は、台風災害の復旧需要の取込により、売上高はほぼ前年同四半期並みに推移いたしました。

この結果、加工品事業の売上高は、39億4千万円で前年同四半期比9百万円の減収（0.2%減）、セグメント利益は1億9千1百万円で前年同四半期比5千1百万円の減益（21.3%減）となりました。

**（不動産賃貸事業）**

不動産賃貸事業の売上高は、1億4千9百万円で前年同四半期比1百万円の減収（1.0%減）となりましたが、セグメント利益は7千4百万円で前年同四半期比2千6百万円の増益（54.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は453億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億1千9百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加2億2百万円、受取手形及び売掛金の減少24億9百万円、たな卸資産の増加3億8千3百万円、有形固定資産の増加6億5百万円及び投資有価証券の減少1億2千1百万円等によるものです。

## (負債)

負債合計は211億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ14億9百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少23億3千6百万円、短期借入金の増加8億2千万円、長期借入金の増加1億4千9百万円、退職給付に係る負債の減少8千5百万円等によるものです。

## (純資産)

純資産の部は242億1千6百万円となり前連結会計年度末に比べ9千万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加1億4千4百万円及びその他の包括利益累計額の減少5千1百万円等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は20億7千1百万円で、前連結会計年度末に比べ2億2百万円の増加(10.8%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億5千1百万円の収入となりました(前年同四半期は、7億5百万円の収入)。主な要因は、税金等調整前四半期純利益2億9千万円、減価償却費6億6千4百万円が計上され、売上債権の減少24億1百万円、仕入債務の減少23億4千3百万円、たな卸資産の増加3億8千万円等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億6千1百万円の支出となりました(前年同四半期は、7億4千2百万円の支出)。主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億1千7百万円、無形固定資産の取得による支出5千6百万円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億6百万円の収入となりました(前年同四半期は、1億6千7百万円の支出)。主な要因は、短期借入金の純増額8億2千万円、長期借入れによる収入9億円、長期借入金の返済による支出7億2千3百万円、配当金の支払額1億7百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、前回発表数値(2019年10月11日発表)から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,870	2,073
受取手形及び売掛金	16,846	14,436
商品及び製品	4,357	4,407
仕掛品	1,710	1,871
原材料及び貯蔵品	2,051	2,224
その他	264	293
貸倒引当金	△23	△21
流動資産合計	27,077	25,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,035	6,044
機械装置及び運搬具(純額)	2,183	2,552
工具、器具及び備品(純額)	361	432
土地	3,602	3,605
リース資産(純額)	322	283
建設仮勘定	296	489
有形固定資産合計	12,802	13,408
無形固定資産		
リース資産	3	1
その他	625	639
無形固定資産合計	628	640
投資その他の資産		
投資有価証券	4,799	4,677
繰延税金資産	28	48
その他	1,379	1,334
貸倒引当金	△60	△58
投資その他の資産合計	6,147	6,002
固定資産合計	19,578	20,051
資産合計	46,656	45,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,554	9,218
短期借入金	2,050	2,870
1年内返済予定の長期借入金	1,457	1,485
リース債務	142	124
未払法人税等	168	165
賞与引当金	453	454
未払消費税等	93	46
未払費用	900	839
その他	485	671
流動負債合計	17,305	15,874
固定負債		
長期借入金	3,476	3,625
リース債務	211	184
繰延税金負債	588	572
役員退職慰労引当金	228	228
退職給付に係る負債	533	447
その他	186	187
固定負債合計	5,224	5,245
負債合計	22,530	21,120
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,526	2,526
利益剰余金	17,797	17,942
自己株式	△59	△60
株主資本合計	23,510	23,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	746	679
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△11	△35
退職給付に係る調整累計額	△261	△221
その他の包括利益累計額合計	473	421
非支配株主持分	142	140
純資産合計	24,125	24,216
負債純資産合計	46,656	45,336



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	21,978	21,119
売上原価	18,568	17,839
売上総利益	3,410	3,280
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	800	825
賞与	103	95
福利厚生費	191	195
減価償却費	98	124
賞与引当金繰入額	197	197
退職給付費用	56	65
通信交通費	162	137
荷造及び発送費	562	598
その他	776	866
販売費及び一般管理費合計	2,950	3,106
営業利益	460	173
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	91	85
出資分配益	47	54
その他	24	35
営業外収益合計	167	177
営業外費用		
支払利息	16	16
為替差損	—	7
その他	8	23
営業外費用合計	24	47
経常利益	602	304
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除売却損	14	20
減損損失	4	—
特別損失合計	18	20
税金等調整前四半期純利益	585	290
法人税、住民税及び事業税	137	120
法人税等調整額	53	△25
法人税等合計	190	95
四半期純利益	394	194
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	396	196

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	394	194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△232	△67
繰延ヘッジ損益	6	0
為替換算調整勘定	△81	△24
退職給付に係る調整額	20	40
その他の包括利益合計	△286	△50
四半期包括利益	108	143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111	145
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	585	290
減価償却費	639	664
減損損失	4	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△104	△27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31	0
受取利息及び受取配当金	△95	△86
支払利息	16	16
有形固定資産処分損益 (△は益)	13	20
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	671	2,401
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△469	△380
仕入債務の増減額 (△は減少)	△81	△2,343
その他	△269	△241
小計	875	303
利息及び配当金の受取額	94	89
利息の支払額	△15	△17
法人税等の支払額	△249	△123
営業活動によるキャッシュ・フロー	705	251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△660	△917
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△70	△56
投資有価証券の取得による支出	△4	△0
投資有価証券の売却による収入	—	31
貸付金の回収による収入	3	0
その他	△11	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△742	△961
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	730	820
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△702	△723
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△86	△80
配当金の支払額	△107	△107
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167	806
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△213	90
現金及び現金同等物の期首残高	1,710	1,869
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	111
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,496	2,071

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、子会社である東京油墨貿易(上海)有限公司は、合計の総資産、売上高、当期純利益及び利益剰余金等の連結財務諸表に及ぼす影響の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ事業	化成品事業	加工品事業	不動産賃貸事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	7,219	10,659	3,949	150	21,978	21,978
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	50	—	—	50	50
計	7,219	10,710	3,949	150	22,029	22,029
セグメント利益	79	945	243	48	1,316	1,316

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,316
全社費用(注)	△855
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	460

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ事業	化成品事業	加工品事業	不動産賃貸事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	6,554	10,475	3,940	149	21,119	21,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	23	—	—	23	23
計	6,554	10,498	3,940	149	21,142	21,142
セグメント利益	82	814	191	74	1,163	1,163

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,163
全社費用（注）	△988
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	173

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。